

## 5. 広報活動

2016年度に引き続き、イベントの開催及びプレスリリース等を通じて、SPring-8及びSACLAの活動情報を発信した。

月13日)と、シンポジウム「Synchrotron Radiation for the Future of Humanity」(2017年10月14日)を行った。

理研 播磨事業所 放射光科学研究推進室

### 1. プレスリリース

SPring-8またはSACLAを利用した研究成果等をマスメディアに対して発信した。2017年度において、理研・JASRIを合わせた発表件数は55件であった。

### 2. 取材対応

SPring-8またはSACLAで行われ、理研及びJASRIが対応したマスメディアの取材は10件であった。

### 3. 一般見学

291件6,409名の見学者を受け入れた。

また、兵庫県と連携して播磨科学公園都市内のPR館であるオプトピアにて、SPring-8及びSACLAを紹介するビデオ・パネル・VR等の展示を行い、見学者数は7,531名であった。

### 4. 施設公開

2017年4月30日に「Meet the Scientists ～科学と遊ぼう～」をテーマとし、施設のスケールを体験しながら、普段は見ることのできない装置等を公開し、放射光科学を身近に感じることができるイベント・科学者講演会を実施した。来場者数は2016年度を上回る5,982名であった。

### 5. 出張授業

出張授業は、理研またはJASRIの研究者などが小中高等学校に出向き、科学技術についての実験を含めた授業を行うもので、1999年度から実施している。

2017年度は、2017年7月4日に播磨高原東小学校に研究者が出向き、講義を行った。

### 6. イベント・展示会

2017年度は「第10回サイエンスフェア in兵庫」(2018年1月28日)にパネル出展を行い、兵庫県内の高校生を対象にSPring-8/SACLAの普及活動に努めた。

また、SPring-8が供用を開始して20周年であることから、「SPring-8供用開始20周年記念式典」(2017年10